

楽天株式会社

事業名：離島へのドローン物流事業

Q.実証事業に応募したきっかけを教えてください。

新型コロナウイルス感染症拡大によって新たな生活様式が求められる中で、物流の面でも非接触で荷物を運ぶ対策が期待されており、弊社のドローン物流事業で生活物資等の非接触型物流を実現すべく、本実証事業に応募しました。

また三重県の皆さまとは昨年も間崎島へのドローン配送実証実験でお世話になり、今年はより実用化に近い体制にて日本初となる離島住民への有料ドローン配送サービス実施を目指しました。

Q.三重県で実証して良かった点を教えてください。

間崎島は住民の高齢化率が75%であり、島内の売店は週3日午前営業の1軒のみ、移動・輸送手段は船のみのため、ドローン配送による買い物困難者支援の実施に相応しい場所と考えていましたが、実際に住民の皆さまに本サービスを利用いただき大変喜んでいただけたことで、離島におけるドローン物流の可能性を感じることができました。

また、三重県・志摩市の皆さまをはじめ地元企業様のご協力があったからこそ、本サービスの成功を収めることができました。

Q.本事業で何を実証したのか教えてください。また、その結果もあわせて教えてください。

間崎島住民に対して、マックスバリュ鶴方店から注文された商品をドローンで配送するサービスを11日間実施しました。アプリでの注文が難しい住民でも非接触でお届けできるように、注文では内容を記入した用紙を自動でスキャンできる機材を集会所に設置、商品の受取は住民が直接できるようにし、お支払いでは現金に加えてキャッシュレス決済にも対応しました。本サービスは配送手数料500円をいただくといった実用化に近い形でサービスを提供しましたが、昨年の注文数を大きく上回る20注文、注文者へのアンケートでは満足度平均98点と大変好評をいただく結果となりました。

Q.今後、この実証事業を三重県または全国でどのように展開していくのか教えてください。

住民の皆さまからいただいたご意見を参考にしながらサービス定常化に向けて改良を重ねていきます。そして今回の実証を通じて得られた非接触型物流モデルを、三重県や全国にある買物が困難な地域へと拡大させていながら、地元の人材が本事業を運用できる体制構築にも取り組んでいきます。空を活用した新しいインフラを通じて、様々な場面で人々の生活をより便利で幸せなものにしていくことを目指します。

<三重県担当職員からひと言>

「このサービスは我々島民にとって希望の燈火」。実証終了後のアンケートでこんな声上がるほど、実証を実施いただいた間崎島にはサービスが浸透しています。有人離島が6つ存在する三重県にとって、ドローン物流は将来の重要なインフラです。地域でのさらなる事業展開を期待しています！（創業支援・ICT推進課 伊藤さん）



<実証事業の様子>

